



「公共政策フォーラム 2025 in 養父」を開催します

未来を紡ぐ 市民・地域・公共がともに挑戦するまちづくり～選ばれる中山間地を目指して～

公共政策フォーラムは、日本公共政策学会が毎年取り組んでいる事業であり、開催自治体が抱える地域課題に対し、公共政策を学ぶ全国の大学生がテーマに沿った解決策を提案する政策コンペティションです。

2025年度の公共政策フォーラムは12月6日（土）～7日（日）にやぶ市民交流広場（養父市八鹿町八鹿）で開催します。

1 テーマ

「未来を紡ぐ 市民・地域・公共がともに挑戦するまちづくり ～選ばれる中山間地を目指して～」

2 参加大学（13大学15チーム）

東洋大学、法政大学、愛知学院大学、専修大学、関西大学、沖縄国際大学、高崎経済大学、日本大学、金沢大学、愛媛大学、青山学院大学、早稲田大学、東海大学（順不同）

3 開催日程

予選会 2025年12月6日（土）13時15分～18時35分（受付開始 12時15分～）

決勝戦 2025年12月7日（日）9時30分～14時（受付開始 9時から）

予選会及び決勝戦は一般公開します。

決勝戦はインターネットによるライブ配信を行う予定です。

ライブ配信のURLは、下記のとおりです。

https://youtube.com/live/aqWtZs_fwUg?feature=share



ライブ配信の二次元コード

4 政策コンペの実施方法

- 参加チームを2つのブロックに分けて予選会を実施・審査（発表：15分、質疑応答：5分）
- 審査により、各ブロックの上位3チームを選考
- 各ブロックから選考された6チームで決勝戦を実施（6チームが再度発表）
- 決勝戦の審査により、日本公共政策学会長賞（最優秀賞）等の各賞を決定

5 審査基準

テーマ及び課題の把握が的確かどうか、論点の明晰さ、表現の適切さ、具体性・実現性、独創性、発表時間の適切さ（各5点・30点満点）

6 論文の公開について

審査用論文は市HPに公共政策フォーラム終了までの間、一括掲載します。完成版についても、公共政策フォーラム終了後、市HPに掲載します。

7 開催会場

やぶ市民交流広場（養父市八鹿町八鹿538-1）

8 その他

詳細は別紙開催要領等のとおりです



大会プログラム等
（市ホームページ）

【問合せ】

主催：公共政策フォーラム2025in 養父実行委員会

事務局：経営企画部 経営政策・国家戦略特区課 課長：小野山幸司 担当者：藤原将司

電話：079-662-7602

予選会 第1会場 発表スケジュール

予選会 第1会場 : ホール

No.	時刻	チーム名	発表テーマ
1	13:50 ～ 14:10	金沢大学 奥田ゼミナール	ペアステーション ～ここから始まる地域のわくわく～
2	14:15 ～ 14:35	関西大学 永田ゼミナール	YABU-LOCA ～現状突破～
3	14:40 ～ 15:00	沖縄国際大学 中川ゼミ	The Trinity—『交流』から『定着』へ—
15:00～15:15 休憩			
4	15:20 ～ 15:40	日本大学 中川ゼミナール	養父市well-being戦略特区の創設
5	15:45 ～ 16:05	専修大学 高橋義仁ゼミナール	廃校を活用した「働く場」と「住む場」の創出 ～養父市再生のためのサテライトオフィス誘致戦略～
6	16:10 ～ 16:30	法政大学 廣瀬・土山ゼミ	「I YABU YOU プロジェクト」 ～未来を紡ぐ「関係人口」の入り口～
16:30～16:45 休憩			
7	16:50 ～ 17:10	早稲田大学 田辺ゼミ	養父に集まれ！地方移住へのファーストステップ ～セカンドローカルの創出～
8	17:15 ～ 17:35	愛媛大学 福井ゼミ	YABU DE MTB ～選ばれる中山間地になるために～

予選会 第2会場 発表スケジュール

予選会 第2会場 : 大会議室

No.	時刻	チーム名	発表テーマ
1	13:50 ～ 14:10	東洋大学 箕輪ゼミ	紡ぐ未来、選ばれる養父のまち ～ふるさと納税を糸口にしたつながり人口創出～
2	14:15 ～ 14:35	高崎経済大学 鈴木洋昌ゼミ	皆光るまち 養父 ～養蚕の歴史と文化を生かしたまちづくり～
3	14:40 ～ 15:00	青山学院大学 片山泰輔研究室	アーティスト・イン・レジデンスを活用した 地域創生政策の展開 ～養父市における『つながり人口』創出を目指して～
15:00～15:15 休憩			
4	15:20 ～ 15:40	専修大学 石川和男ゼミナール	やぶ！愛こめストーリー ～地域愛形成と地域コミュニティの活性化に向けて～
5	15:45 ～ 16:05	東海大学 岡本三彦ゼミナール	「泊まる」を「つながる」に変えるまち ～民泊とマイふるさとガイドでふるさとをシェア～
6	16:10 ～ 16:30	愛知学院大学 小林ゼミナール	空き家・農地アダプティブユース事業 ～米（マイ）セカンドハウスへの誘（いざな）い～
16:30～16:45 休憩			
7	16:50 ～ 17:10	関西大学 岡本ゼミ	YAVU～関係を耕す養父づくり～

政策コンペ審査員配置表

審査員氏名	所属	12月6日(土) 予選会		12月7日(日) 決勝戦
		第1会場	第2会場	
宇佐美 誠	日本公共政策学会 会長	◎		◎
秋吉 貴雄	日本公共政策学会 副会長		◎	●
野崎 祐子	日本公共政策学会 副会長	●		●
松元 雅和	日本公共政策学会 事務局長		●	●
谷垣 満	養父市議会議長			●
世登 道德	養父市商工会長			●
田中 翔太郎	やぶ市観光協会会長			●
井上 剛	養父市副市長			●
米田 規子	養父市教育長			●
雲田 裕史	養父市理事	●		
小井塚 裕二	養父市理事		●	
羽瀧 猛	養父市経営企画部長	●		
細田 誠也	養父市産業環境部長		●	

◎は各会場における審査委員長

政策コンペ審査基準

1. 審査対象

論文及び発表内容

2. 審査基準

以下の6項目について、各5点ずつ配点し30点満点で採点します。

NO.	審査項目	配点
I	テーマ及び課題の把握が的確かどうか	5
II	論点の明晰さ	5
III	表現の適切さ	5
IV	具体性・実現性	5
V	独創性	5
VI	発表時間の適切さ（※下記3.参照）	5
採点合計		30

3. 口頭発表時間の減点方法

上記2「審査基準」の中の、「VI：発表時間の適切さ」については、発表時間15分に対して発表時間の長短で減点を行います。また、審査委員の質問時間を5分程度予定しています。

実際の発表時間		減点数
5分未満		-3
5分以上	10分未満	-2
10分以上	13分未満	-1
13分以上	15分以内	0
15分超	16分以内	-1
16分超	17分以内	-2
17分超	18分以内	-3
18分超		-4

※発表時間が18分を超えた場合は、その時点で発表を打ち切らせていただきますので、あらかじめご承知おきください。

公共政策フォーラム 2025in 養父（やぶ） 開催要領

1 開催方法

- ・予選会及び決勝戦は一般公開とします。また、決勝戦はインターネットによるライブ配信を行う予定です。ライブ配信の URL は、後日連絡します。
- ・予選会及び決勝戦の様子については、後日、市ケーブルテレビでの放映や市広報紙への掲載を行う予定です。広報用の撮影などを行いますので、著作権への配慮をお願いします。
- ・審査用論文の事前配布は行わず、市ホームページに公共政策フォーラム（以下「フォーラム」という。）終了までの間、一括掲載します。正誤表が提出された場合等も同様です。
- ・論文の完成版についても、フォーラム終了後、市ホームページに掲載します。

2 開催日程

- ・予選会 2025年12月6日（土）
- ・決勝戦 2025年12月7日（日）

12月6日（土）（予選会）

時 間	内 容	備考（会場等）
12：15～	受 付	代表者は受付してください
13：15～13：35	開 会 式	ホール
13：45～17：45	政策コンペ（予選会）	第1会場：ホール 第2会場：大会議室
17：45～18：25	審 査 （養父市観光・特産品紹介等）	控室A （大会議室・ロビー）
18：25～18：45	審査結果発表・講評	ホール

※予選会全日程が終了した後、会場内において各自交流・意見交換をする時間を30分程度設定する予定です。

12月7日（日）（決勝戦）

時 間	内 容	備考（会場等）
9：00～	受 付	代表者は受付してください
9：30～12：15	政策コンペ（決勝戦）	ホール
12：15～13：15	審 査 （養父市施策に関する講演等）	控室A （ホール）
13：15～13：30	審査結果発表・表彰・講評	ホール
13：30～14：00	閉会式・記念撮影	ホール

※参加チーム数に応じて政策コンペ（予選会・決勝戦）以下のタイムスケジュールを調整します。

3 開催会場

会場：養父市立やぶ市民交流広場（YBファブ）

所在：兵庫県養父市八鹿町八鹿 538-1

TEL：079-662-0070 ホームページ：<https://www.city.yabu.hyogo.jp/bunka/>

※公共政策フォーラムに関するお問合せは実行委員会事務局へお願いいたします。

4 開催内容

大学生による政策コンペ

5 テーマ

「未来を紡ぐ 市民・地域・公共がともに挑戦するまちづくり

～選ばれる中山間地を目指して～

（コンセプト）

養父市まちづくり計画では、2050年の養父市の目指す姿を「居空間」という造語で表現しています。これは、将来の養父市が、市内外に住むあらゆる人にとって「居心地がよい」、「住み続けたい」と感じられる「場」、「空間」としての「居空間」となるよう育むことにより、持続可能な養父市を次世代につないでいくための未来を思い描いた構想です。

中山間地域の多くの自治体と同様に、養父市も少子高齢化や人口減少に直面し、それに伴う様々な地域課題を抱えています。このため、移住・定住や子育て支援などの若者世代への魅力向上、社会的処方を取り入れ、全ての世代の人々が健康的で生き生きと生活できる地域コミュニティの創出、それを支える交通等のインフラ網の整備や新たな手段の確保、地域経済の好循環を生むための施策など、幅広い分野で取組を展開していますが、課題解決には至っていないのが現状です。

一方、これらの取組を実効性の高いものにするためには、市民、地域、公共が一体となり挑戦していくことが不可欠です。さらに、市内の方だけではなく、「養父市とつながりを持ちたい」と考えてくれる方々にまちづくりの輪を広げ、多様な主体による新たな視点を取り入れることも必要としています。

持続可能な養父市であるために、「養父市に住みたい」、「養父市とつながりを持ちたい」と感じられる魅力ある養父市、選ばれる養父市を目指し、これまで養父市と直接つながりがなかった皆さんから、大学生ならではの柔軟かつ大胆、斬新なアイデア・ご提言をお待ちしています。

また、養父市は国家戦略特区に指定されています。規制緩和や制度改革を推進する仕組みであるこの制度では、指定された区域で法令や規制の適用範囲が緩和されることにより、新たな産業の育成や観光資源の活性化、地域経済の振興に向けた挑戦が可能です。この制度を活用した新たな規制緩和を求める提案も大いに歓迎します。

そして最後に、皆さんが、養父市とつながりを持つ新たな「つながり人口」となっていただけることを期待しています。

（養父市の紹介）

養父市は、2004年4月1日、兵庫県養父郡の八鹿町・養父町・大屋町・関宮町の4町が合併して成立しました。人口20,756人、世帯数8,996世帯（2025年4月末時点）、兵庫県北部の但馬地域の中央に位置し、面積は422.91平方キロメートルで、そのうち約84%が森林面積となっています。市全体が過疎地域に指定されており、高齢化率は40.8%（2025年4月末時点）です。

市東部を一級河川円山川が南東から北東の方向に流れ、その支流の八木川に沿って八鹿、関宮地域が、大屋川に沿って養父、大屋地域が位置しています。西部には県下最高峰の氷ノ山や鉢伏山、ハチ高原、若杉高原が、北部には妙見山がそびえるなど、雄大で美しい自然に囲まれています。気候は日本海型で一般的に多雨多湿、冬季は大陸から季節風が吹き、積雪も多い地域です。

市内の主要道路として、京阪神と山陰地方を結ぶ主要な地域幹線道路である国道9号が東西に、姫路方面と山陰地方を結ぶ国道312号が南北に通っています。また、2012年11月に北近畿豊岡自動車道八鹿氷ノ山IC及び養父ICが供用開始となり、大阪・神戸から約2時間で到着することができます。市内には、JR山陰本線が通っており、八鹿駅及び養父駅から京阪神への所要時間は約2時間です。また、市の北約10kmの豊岡市内にある但馬空港から大阪空港までは約35分で結ばれています。

養父市の農業は豊富な水資源による水稻生産を中心としているほか、有機農業の取組も積極的に推進しています。また、但馬牛やブロイラー飼育などの畜産業も盛んです。基幹産業である観光では、山岳高原地域におけるスキーやスノーボード、登山などのアウトドアスポーツや学生による夏合宿などで多くの観光客・訪問客が養父市を訪れています。また、近年では明延鉱山や中瀬鉱山などの近代化産業遺産を活用した観光にも力を注いでいます。

2014年には、国と自治体・事業者が協力して規制緩和や制度改革を推進する国家戦略特区に指定され、人口減少や高齢化の進行、農業の担い手不足や耕作放棄地の増加などの地域課題を解決するため、企業による農地取得の特例や農家レストラン設置に係る特例、道路運送法の特例（自家用自動車による旅客運送）などの規制緩和に取り組んでいます。

6 開催詳細

(1) 政策コンペの実施方法

- ① 参加チームを2つのブロックに分けて予選会を実施・審査
- ② 審査により、各ブロックの上位3チームを選考
- ③ 各ブロックから選考された6チームで決勝戦を実施（6チームが再度発表）
- ④ 決勝戦の審査により、各賞を決定

※参加チーム数に応じてブロック分けや決勝戦に進出するチーム数を調整します。

(2) 政策コンペ会場と発表順序

別紙1「政策コンペ会場と発表順序」をご参照ください。

(3) 発表時間

- ・予選会、決勝戦ともに1チーム当たりの発表時間は15分を予定しています。

- ・発表後、審査員との質疑応答を5分程度予定しています。
- ・発表及び質疑応答の前後にそれぞれ5分間の準備（撤収）時間を設けます。

【1チーム当たりの時間配分】

準 備 ※前チーム撤収 5分	発 表 15分	質疑応答 5分	撤 収 ※次チーム準備 5分
----------------------	------------	------------	----------------------

(4) 発表用資料

- ・発表用資料はMicrosoft社のPowerPointを使用してスライドを作成してください。
- ・スライドの画面比率は16：9としてください。
- ・スライドの枚数に制限はありませんが、データの容量は10MB以内としてください。
- ・発表用資料は事前に送付していただきます。なお、送付後にデータ修正を行う場合には、修正したデータをUSBメモリに保存して持参し、発表前に使用するパソコンにデータを保存し直してください。

(5) 発表方法

予選会、決勝戦ともに発表用資料のスライドをスクリーンに投影し行います。

(6) 使用機材

- ・パソコン、プロジェクター、スクリーンは、事務局で準備したものを使用してください。
- ・各チームで持参したパソコンを使用する場合は事前に事務局へご連絡ください。ただし、その場合は準備時間（5分）の中でセッティングを完了するようにしてください。なお、動作保証はいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- ・パソコンはWindows11、MicrosoftPowerPoint2019搭載パソコンを使用します。
- ・パソコンとプロジェクターの接続はHDMI端子で接続します。特にパソコンを持参する場合は、HDMI端子で接続できるものに限られますのでご注意ください。

(7) 事前確認について

- ・予選会、決勝戦会場の事前確認は下記の時間帯でお願いします。
予選会…2025年12月6日（土）12時15分から13時5分まで
決勝戦…2025年12月7日（日）9時00分から9時20分まで
- ・5分間程度を目安に参加チーム同士で譲り合いながら事前確認を行ってください。
- ・事前確認では発表用資料の動作確認や持参したパソコンの接続確認を行っていただけますが、発表リハーサルはできません。
- ・学生控室（リハーサル室・展示室・中会議室等）はご自由にお使いください。

(8) 審査員

別紙2「政策コンペ審査員配置表」をご参照ください。

(9) 審査基準

別紙3「政策コンペ審査基準」をご参照ください。

(10) 表彰

- ・日本公共政策学会会長賞（最優秀賞）
- ・養父市長賞
- ・養父市議会議長賞
- ・養父市商工会長賞
- ・やぶ市観光協会会長賞
- ・養父市教育長賞

7 参加申込について

- ・参加を希望するチームは、様式1「参加申込書」に必要事項を記入いただき、実行委員会事務局へ電子メールで提出してください。
- ・事務局において、受信を確認次第、その旨を電子メールで返信します。
- ・参加申込書の受付期間は「2025年5月12日（月）～7月11日（金）17時00分」です。期限厳守でお願いします。

8 相談・質問・現地調査について

(1) 養父市への相談や質問など

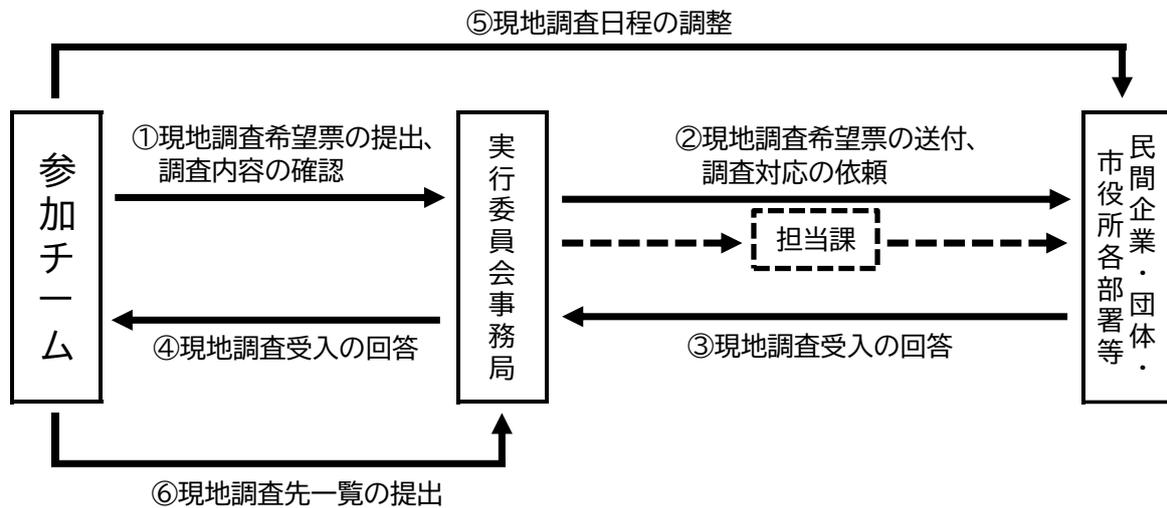
- ・発表テーマ設定にあたっては、前述のテーマと関連性のあるものとしてください。なお、関連性について不明な点がある場合は、実行委員会事務局へ電子メールでご相談ください。
※特に様式はありません。
- ・養父市の施策等に関することで市役所各部局へ質問がある場合は、様式2「事前質問票」に必要事項を記入いただき、実行委員会事務局へ電子メールでご提出ください。
- ・受信後、実行委員会事務局から市役所各部局に取り次ぎし、電子メールで回答します。

(2) 現地調査

- ・現地調査の期間は7～9月を想定していますが、特に期間の限定はありません。
- ・現地調査を予定しているチームで、市内の民間企業・団体・市役所各部局など調査先の紹介を希望する場合は、様式3「現地調査希望票」に必要事項を記入いただき、実行委員会事務局へ電子メールでご提出ください。
- ・受信後、実行委員会事務局において調査希望団体へ現地調査希望票を送付し、回答がありましたら電子メールで連絡します。
※調査希望団体との調整に時間を要する可能性がありますので、できるだけ早めに現地調査希望票をご提出ください。
- ・現地調査の受入が可能となった場合、調査先との日程調整は各チームが直接行ってください。

- ・調査日程が決まりましたら、様式4「現地調査先一覧」へ記入いただき、実行委員会事務局への情報共有にご協力をお願いします。
- ・現地調査後、調査先への追加調査や質問事項がある場合は、直接ご連絡ください。
- ・現地調査の際は、車、レンタカー、バスなどを利用し直接現地へお越しください。

(参考) 現地調査までの流れ



9 審査用論文について

(1) 論文の作成形式

- ・文字数は1万字程度（図表含む）としてください。
- ・使用する用紙は以下の表のとおりとしてください。

サイズ	A4
向き	用紙：縦向き／文字：横書き
余白	上下左右すべて25mm
段落	40字×40行
フォント	MS明朝／10.5ポイント
その他	下段にページを付番

- ・最初のページに表題、大学名・学部名、チーム名（指導教員氏名）、代表者氏名、発表者氏名、参加者氏名を記載してください。
※表題は中央揃え、フォントサイズは16ポイントとしてください。また、表題以外の項目は左揃え、フォントサイズは10.5ポイントとしてください。
- ・表題等の次（本文の前）に、概ね800字程度で「梗概」を記載してください。
- ・PowerPointで作成した発表用資料のスライドを論文に掲載する場合、1ページあたりのスライドは最大6枚としてください。

(2) 提出期限

2025年11月7日（金）17時00分まで

(3) 提出方法

- ・論文はPDF形式とし、電子メールで実行委員会事務局に提出してください。
- ・提出された論文は、実行委員会事務局において内容を確認次第、その旨を連絡させていただきます。その際、審査に支障がある文字化け等があった場合には修正をお願いすることがあります。

※内容確認はPDF形式に変換した際の、文字化けやずれ等がないかに限ります。論文の記述内容については各チームで十分確認のうえ、提出してください。

- ・11月14日（金）17時00分をもって論文を確定します。
- ・論文確定後に内容の訂正等がある場合には、11月28日（金）13時00分までに「正誤表」を作成して実行委員会事務局に電子メールで提出してください。なお、正誤表は一度に限り受け付けます。

※正誤表は、A4縦・横書きとし、訂正箇所の正誤箇所を対照させた表としてください。

※フォーラム後に論文集を制作するため、正誤表を提出したチームは、修正後の論文をPDF形式にし、12月26日（金）17時00分までに改めて実行委員会事務局に電子メールで提出してください。

【正誤表（記入例）】

公共政策フォーラム2025in 養父（やぶ） 正誤表

〇〇大学 チーム名

修正箇所	誤	正
●ページ ●行目		

10 発表用資料の提出について

(1) 発表用資料の作成形式

前述の「6 開催詳細 (4) 発表用資料」を参照してください。

(2) 提出期限

2025年11月28日（金）17時00分まで

(3) 提出方法

電子メールで実行委員会事務局に提出してください。

11 交通アクセス

(1) 養父市までの交通アクセス

① 自動車

〔大阪、神戸方面から〕

(中国自動車道) → 吉川 JCT → (舞鶴若狭自動車道) → 春日 IC → (北近畿豊岡自動車道) → 養父 IC 又は八鹿氷ノ山 IC → 養父市内へ (約1時間30分～2時間)

〔京都方面から〕

(京都縦貫自動車道) → 千代川 IC → (一般道で丹波篠山方面へ) → 丹南篠山口 IC → (舞鶴若狭自動車道) → 春日 IC → (北近畿豊岡自動車道) → 養父 IC 又は八鹿氷ノ山 IC → 養父市内へ (約2時間30分)

〔姫路方面から〕

(播但連絡自動車道) → 和田山 JCT → (北近畿豊岡自動車道) → 養父 IC 又は八鹿氷ノ山 IC → 養父市内へ (約1時間30分)

② 鉄道 (2025年5月7日時点、土日ダイヤ)

・新大阪駅から特急こうのとりに乗り、JR山陰本線八鹿駅で下車 (約2時間20分)

新大阪駅 08:09	→	八鹿駅 10:32	八鹿駅 09:58	→	新大阪駅 12:29
新大阪駅 09:04	→	八鹿駅 11:26	八鹿駅 12:01	→	新大阪駅 14:29
新大阪駅 10:05	→	八鹿駅 12:24	八鹿駅 13:55	→	新大阪駅 16:28
新大阪駅 12:05	→	八鹿駅 14:27	八鹿駅 16:00	→	新大阪駅 18:28
新大阪駅 17:05	→	八鹿駅 19:41	八鹿駅 19:19	→	新大阪駅 21:42

・京都駅から特急きのさきに乗り、JR山陰本線八鹿駅で下車 (約2時間)

京都駅 07:32	→	八鹿駅 09:26	八鹿駅 07:57	→	京都駅 10:06
京都駅 11:25	→	八鹿駅 13:23	八鹿駅 11:04	→	京都駅 13:06
京都駅 13:25	→	八鹿駅 15:24	八鹿駅 12:57	→	京都駅 15:06
京都駅 15:25	→	八鹿駅 17:30	八鹿駅 15:02	→	京都駅 17:06
京都駅 18:28	→	八鹿駅 20:43	八鹿駅 16:58	→	京都駅 19:07

・三ノ宮駅から特急はまかぜに乗り、JR山陰本線八鹿駅で下車 (約2時間10分)

三ノ宮駅 08:13	→	八鹿駅 10:19	八鹿駅 07:40	→	三ノ宮駅 09:39
三ノ宮駅 12:42	→	八鹿駅 14:39	八鹿駅 14:47	→	三ノ宮駅 16:46
三ノ宮駅 18:27	→	八鹿駅 20:48	八鹿駅 17:44	→	三ノ宮駅 19:46

※上記ダイヤのほか、特急列車や普通列車の乗り換えにより他の時間帯で発着できる場合がありますので、各自で十分ご確認ください。

③ 高速バス (2025年5月7日時点)

・大阪から全但バス高速バス「豊岡・城崎温泉方面」に乗り、「扇町土木所前」又は「八鹿駅」で下車 (約2時間40分)

大阪 09:20、新大阪 09:30	→	扇町土木所前 11:52、八鹿駅 11:55
大阪 18:20	→	扇町土木所前 20:44、八鹿駅 20:47
八鹿駅 12:46、扇町土木所前 12:49	→	大阪 15:18

八鹿駅 16:26、扇町土木所前 16:29 → 新大阪 19:06、大阪 19:16

八鹿駅 18:26、扇町土木所前 18:29 → 大阪 20:58

・神戸（三宮）から全但バス高速バス「豊岡・城崎温泉方面」に乗り、「扇町土木所前」又は「八鹿駅」で下車（約2時間15分）

神戸（三宮）12:30 → 扇町土木所前 14:52、八鹿駅 14:55

神戸（三宮）17:30 → 扇町土木所前 19:52、八鹿駅 19:55

八鹿駅 07:12、扇町土木所前 07:15 → 神戸（三宮）09:28

八鹿駅 11:01、扇町土木所前 11:04 → 神戸（三宮）13:18

(2) 会場までの交通アクセス

① 自動車：北近畿豊岡自動車道八鹿氷ノ山 IC より 10 分程度

② 鉄道：JR 山陰本線八鹿駅より西南へ徒歩 10 分程度

③ 高速バス：「八鹿駅」又は「扇町土木所前」下車、徒歩 10 分程度

④ 路線バス：「八鹿駅」から鉢伏線、秋岡線、湯村温泉線、八鹿豊岡線に乗り「諏訪町」下車すぐ又は「八鹿駅」から和田山中央公園線、山口生野線、明延線、若杉線、井ノ坪線に乗り「やぶ市民交流広場前」下車すぐ

※「八鹿駅」から「諏訪町」まではバス停2つ、「やぶ市民交流広場前」まではバス停3つの距離になります。「やぶ市民交流広場前」を通過しない路線があるのでご注意ください。

(3) 八鹿駅から近隣の宿泊施設までの交通アクセス

○ Hotel IKUE 様

・自動車：約5分程度

・路線バス：「八鹿駅」から鉢伏線、秋岡線、湯村温泉線、八鹿豊岡線に乗り「ペア前」下車すぐ

○ 兵庫県立但馬長寿の郷 様

・自動車：約10分程度

・路線バス：「八鹿駅」から鉢伏線、秋岡線、湯村温泉線、八鹿豊岡線に乗り「国木下」下車、徒歩20分程度

※バス停から施設まで坂道を1.3kmほど歩きますので、自動車又はタクシーの利用をお勧めします。

○ 道の駅但馬楽座 様

・自動車：約10分程度

・路線バス：「八鹿駅」から和田山中央公園線に乗り「上野」下車、徒歩5分程度

※運行本数が非常に少ないため、自動車又はタクシーの利用をお勧めします。

※最新情報・詳細は各自で十分ご確認ください。

※高速バス・路線バスの時刻表・運賃・空席検索・バス乗場案内・運行状況は全但バス公式ホームページをご確認ください。[\(https://www.zentanbus.co.jp/\)](https://www.zentanbus.co.jp/)

※養父市内のタクシー事業者は下記のとおりです。タクシーを利用する場合は事前予約をし、配車手続きを行ってからご利用ください。

- ・あいあいタクシー (TEL：079-664-2833)
- ・全但タクシー (TEL：079-662-4128)
- ・丸八観光タクシー (TEL：079-662-6208)

※公共政策フォーラム当日は、1日目(12月6日)終了後及び2日目(12月7日)開始前は近隣宿泊施設-会場間のシャトルバスを運行する予定です。詳細は決定次第、参加チームに連絡します。

12 宿泊先について

宿泊施設は各自でご手配くださいますようお願いいたします。なお、養父市は市域が広く交通手段も限られています。宿泊施設から会場や鉄道駅までの距離、交通手段を十分ご確認ください。

(参考) やぶ市観光協会ホームページ <https://www.yabu-kankou.jp/sightseeingcategory/stay>

近隣の宿泊施設(会場・鉄道駅から自動車で約5~10分)

- ・Hotel IKUE 様 (ホームページ：<https://hotelikue.jp/yoka/>)
- ・兵庫県立但馬長寿の郷 様 (ホームページ：<https://www.choju.jp/>)
- ・道の駅但馬楽座 様 (ホームページ：<https://www.tajima-rakuza.com/rakuza>)

※道の駅但馬楽座様については、2025年6月30日(月)までは、12月6日(土)の宿泊を公共政策フォーラム用のため全室(洋室3部屋各1名、和室14部屋各最大5名)確保してありますので、「公共政策フォーラム参加者」と伝えれば先着順で予約可能です。当該日以降は部屋の確保が解除されます。なお、当該日までは12月6日(土)の宿泊予約は電話予約のみとなりますのでご注意ください(TEL：079-664-1000)。

13 その他

本開催要領に変更が生じた場合や、追加の連絡については、市のホームページに掲載するほか、参加チームへ電子メールにて直接連絡します。

14 問い合わせ先・提出先

公共政策フォーラム 2025in 養父(やぶ) 実行委員会事務局

(養父市経営企画部経営政策・国家戦略特区課 担当：藤原、栗田)

住 所：〒667-8651 兵庫県養父市八鹿町八鹿 1675 番地

TEL：079-662-7602(直通) / FAX：079-662-7491

メールアドレス：kikakuseisaku@city.yabu.lg.jp

※電子メールでのお問合せ・ご提出の際は、件名を「【公共政策フォーラム〇〇大学】+件名」としてください。

※電子メールに添付するデータ容量が合計10MBを超える場合は、分割して送信してください。